

活気あふれる地域産業を維持するために ～浜松市の企業海外進出支援～

シンガポール事務所

1 地元企業の支援に向けて

浜松市商工会議所は、10月2日（火）から7日（日）の日程で、インドネシア共和国・ジャカルタ特別市周辺への産業視察研修会を実施しました。有志の企業団が現地で浜松市および遠州地域（静岡県西部）にゆかりのある日系企業や、工業団地等を視察しました。

浜松市では、現在、市内の企業の海外進出支援を積極的に展開しようとしています。産業空洞化も懸念される中、海外進出を果たした企業が国外で取引先などを増やしていることに着目し、基盤を浜松市に残して進出してくれば、むしろ地域経済が潤うとのことでした。今回、そのような企業支援の一環として、商工会議所の研修会の一団の日程に合わせ、既に現地進出を果たしている企業やインドネシアの関係者を招いた交流会の開催が企画されました。

2 交流会の開催

交流会は、10月5日（金）の夜にジャカルタ特別市のホテルで開催されました。交流会には浜松市商工会議所のインドネシア産業視察研修会参加者、すでにインドネシア進出を果たしている浜松市関連企業の現地の方々、現地在住の浜松市にゆかりのある方々が参加したほか、在インドネシア日本国大使館の鹿取大使、下川次席公使、JETRO マニラの



交流会で挨拶をする鈴木市長

富吉所長、インドネシア日本友好協会のヘル・サントソ事務局長、インドネシア工業省のブディ・ダルマディ最先端技術活用主要産業総局長らが出席し、約130名が集まりました。視察に参加した企業は、現在、海外進出を考えている企業ばかり。このため、既に海外進出を果たしている現地企業との交流は、よい刺激になると共に、活発な意見交換により、実際の現地の様子など、今後の進出を考える上で必要な情報を得ることがで

きたようです。また、インドネシア工業省の関係者が参加しており、彼らと交流できたことで、既に現地に進出している企業の方々にもメリットがあったのではないのでしょうか。

今回、浜松市は自治体主催でビジネス交流の場を提供しました。地域の産品や地域PR目的ではなく、企業同士のビジネス交流に的を絞ったレセプションの開催は



交流会での歓談の様子

珍しく、特に、日本の地元や首都・東京ではなくインドネシアという海外進出先候補の地で、今後の進出を期す企業のために、海外進出の先駆者や現地関係者を招いた交流会であることに意義があると言えるでしょう。

日本は、企業が生き残りを賭けて海外進出を模索する時代になっています。地元企業の生き残りのために、地方自治体も、金銭面や制度面で様々な支援策を講じています。自治体の企業支援の一例として、ビジネス交流の場の設定を考えてみるのは、いかがでしょうか。

(伊藤所長補佐 浜松市派遣)

